

平成 30 年第 4 回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日時 平成 30 年 4 月 19 日（木）午後 3 時 00 分～午後 4 時 10 分

2 場所 沼津市役所 8 階 801 会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名（三好委員 土屋委員）

(3) 教育委員会出席者の紹介

(4) 教育長報告

(5) 議案 なし

(6) 協議 なし

(7) 報告

1) 平成 30 年度 第 37 回「沼津市わたしの主張大会」について

(8) その他

・沼津こいのぼりフェスティバルについて

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 三好勝晴、
委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 芹澤一男、
教育指導監兼学校教育課長 大川淳、教育企画課長 金子昭人、
学校管理課長 佐藤高志、教職員研修センター所長 川口郁代、
市立沼津高等学校長兼中等部校長 樋口和男、市立沼津高等学校事務長 大川郁夫、
図書館事務長 山本晴望、
スポーツ振興課長兼インターハイ推進室長兼勤労者体育センター所長併都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 山岡慶博、
学校教育課副参事兼青少年教育センター所長 糸川祐一、
生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長併都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 高橋義久、
文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長併都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 原将史、
調整担当教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課指導主事 加納真、
教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課主任 長剣吾、教育企画課事務員 松井沙弥香

5 会議内容

服部教育長が、午後 3 時 00 分開会を宣言する。

服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0 名

(1) 会議録署名人の指名

服部委員長より会議録署名人に三好委員、土屋委員を指名する。

(2) 教育委員会出席者の紹介

教育委員会出席者の自己紹介を行う。

(3) 教育長報告

服部教育長

はじめに、私から4月の活動報告をさせていただきます。

4月2日には、教育委員会配属者4名を含む61名の沼津市新規採用職員の辞令交付式に出席した。また、引き続き、教育委員会事務局職員の転入・異動・昇任者全64名の辞令交付を行った。教育委員会はこれからの未来を担っていく大変重要な仕事であるので、新たなメンバー、体制で、つながりを大切に、力をあわせてやっていくとの話をした。午後には、今年度の沼津市新規採用教職員36名の受入式に出席した。緊張感の中で、若い先生のエネルギーを感じた。初任者教職員は若く、子どもたちとも年齢も近いので、共に学び続けることを大切に頑張りたいと話した。

5日には、市立沼津高等学校の入学式に出席した。中等部・高校それぞれの生徒代表の決意を聞いたが、高い意識が感じられ、中高ならではの入学式を感じる事ができた。

6日には、市内小・中学校で入学式、始業式が行われた。市内小中学校児童生徒合わせて13,357人でスタートした。子どもたちが元気よく登校でき、成長できるように、教育環境の充実に努めていきたいと思う。

10日には、大沼市長お別れの会に出席した。県知事を始めとする多くの来賓の方々、一般参加者が市長とのお別れを惜しんだ。

同日、午後には、県庁で開催された県内市町教育委員会教育長会に出席した。県では、3月に教育に関する大綱、県教育振興基本計画が策定された。これに基づき、平成30年度の静岡県教育委員会の教育行政の基本方針として、【「文・武・芸」三道の鼎立(ていりつ)を目指す教育の実現】、【未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現】、【社会総がかりで取り組む教育の実現】の3点の重点的な取組を推進していくことの説明や、主要事業に関する説明等があった。県市町との一層の連携を強めて欲しいとの話があった。

12日には、東京都港区で開催された、全国都市教育長協議会第1回理事会に出席した。文部科学省による行政説明があり、働き方改革、新学習指導要領の実施に関わる動向、文化財保護法の改正、運動部活動のガイドラインに関する説明があり、大変参考になった。

13日には、東部総合庁舎で開催された、静東教育事務所管内市町教育委員会教育長会に出席した。国・県からの教育施策を踏まえて、随時必要な情報を収集・活用し、事務局で情報共有し、各種事業展開に反映させていく必要を感じた、

以上、説明が終わったが、質問等はいかがか。

特に無いようなので、以上で教育長報告とさせていただきます。

<議案>

なし

<協議>

なし

<報告>

服部教育長 それでは、日程（7）報告に入る。

1) 平成30年度 第37回「沼津市わたしの主張大会」について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 選考方法はこれまでと変更はないか。

生涯学習課長 変更はない。

服部教育長 他に質問はあるか。

無ければ本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

・沼津こいのぼりフェスティバルについて

(生涯学習課長 チラシに基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 開会式について、こいのぼりを見に来ている方にもう少し人が注目するような工夫が必要だと思う。

生涯学習課長 対策について、検討する。

服部教育長 他に質問はあるか。

無ければ本件は報告を受けたということでご了承願う。

・教育委員会からのご意見等について

服部教育長 新年度当初の教育委員会開催にあたり、教育委員より、各課事業等に関する大所高所の視点でのご意見等についてお話をいただければと思うがいかがか。

土屋委員 具体的な事は言えないが、子どもたちに郷土愛を育てる教育をお願いしたい。進学等で市外に転出する子どもたちが、また沼津に戻って、沼津で活躍したいと思ってもらえるような教育を進めて欲しいと思う。沼津には文化、歴史、スポーツなど素晴らしい素材がたくさんある。子ども達にその素晴らしさをもっと伝えて欲しい。授業だけでなく、例えば文化振興課で扱うような歴史的な資料も活用し、沼津の歴史や文化から沼津の素晴らしさをしみこませていただきたい。

教育委員会の仕事というのは、子どもたちを育てることと、そのことは結果として沼津の社会に大きな影響を及ぼすことになるので、沼津の良さをどうやったら知らしめられるか各課考えて実行していただきたい。

服部教育長 各課つながって色々考えていきたいと思う。

三好委員 周囲からは、沼津市の校長会はとてもよいと聞く。それは、校長はもちろんであるが、校長だけでなく、何年にも渡り培ってきた教育の環境そのものがよいからだと思う。そのことは、大いに自信を持ってよいと思う。

学校管理課で検討する普通教室へのエアコン設置について、設置すると決まった際には、早く取り組んだほうが良いと思う。検討も必要だとは思いますが、決まったら早くやる、早くやる行政を市民は見ている。子どもたちは1年1年成長していく、1日でも早く環境整備をしていってあげられればと思う。

青少年教育センターにおいては、相談やいじめの問題・調査、少年補導など大変だとは思いますが、現代はネット社会であるという強い認識も持つ必要がある。いじめ、不登校、麻薬等、ネットでのやりとりも多くなっている。そういったことに対し、ネットに対する知識等は子どもたちが先をいってしまうこともあるので、行政も専門家を配置し、ついていけるくらいの姿勢が必要になってくると思う。

生涯学習課においては、毎年同じ事をやっていくだけではなく、イングリッシュデビュー事業のような新しく、良い事業にも積極的に取り組み、事業の更なる充実を図っていただくことを期待する。

今月末に、市長選が行われる予定であるが、教育大綱については、今年度内に見直されることが考えられるのか。

- 服部教育長 教育大綱は、市長が策定することになっている。市長の考えによって見直しになることはあるかもしれない。見直しする場合には、教育委員会と協議をし、定めることになっている。
- 川口委員 福祉に携わっている者として感じるのだが、認知症の方が急激に増えている。しかし、認知症に対し、社会的理解が低い現状にある。地域の理解が十分ではない状況にある。超高齢化社会の進展にあたり、子どもたちに認知症等正しい知識を得てもらって、差別をしない人の育成に努めていく必要があるのではないかと。
- 地域包括支援センターで市から委託を受けて、認知症サポーター養成講座を実施し、勤務先の法人では、原・愛鷹地区の小中学校の校長にお話をし、学校に出向いて行っている。生徒の反応もよく、開催した学校では、毎年実施している。市全体の取り組み状況については、地域によってばらつきがあるようであるとのことであったので、地域や学校の偏りなく、認知症サポーター養成講座に限らず、認知症や障害者への正しい理解を広めていくための取組を進めていければと思う。
- もう一点は、不登校について。小中一貫教育・連携が進んでいるなかで、例えば小学校で不登校になった子が、中学校に進学する際、その子の情報、関わり、プロセス等が十分引き継がれているのか。情報社会の中で、保護者もある程度情報を集める中で自分の子に関わっている。教員も忙しいとは思いますが、学校間での連携、チームでの支えをしていかなければ不登校の問題解決は難しいのではと思う。
- 重光委員 学校の先生の業務について、授業外の様々な対応が非常に多く、仕事なのか、仕事以外なのかの区別があいまいであり、正確な労働時間が反映されていない、そういったところを今後どういった配慮をしていくべきなのか。若い先生を育成していかなければならない中で、できれば避けなければならない若い先生が自ら依願退職されている状況について、理由分析が必要ではないか。転出等やむを得ない状況であれば仕方がないが、学校の先生として続けていく自信がなくなった、今の労働環境では続けたくないなどの理由であれば、それは非常に残念なことである。そういったことがないよう、例えば、学校をまたいだ相談、カウンセリングをする機会等、実際あるかもしれないが、少しでも自ら辞めていく先生がないような防止策を検討していただきたい。
- 学校の普通教室へのエアコンについては、適正化とのバランスについて、各課との調整も必要かと思う。

適正化の問題については、何年もかけての議論が必要となることから、利害関係者は将来の小中学生の保護者も含めた形での議論をしていただければと思う。

服部教育長 それぞれの委員から出た意見については、各課でも課題として考えているところでもある。

 今後も各委員からご意見をいただきながら、また事務局も随時報告をし、進めていきたいと思う。

服部教育長 その他、何かあるか。

土屋委員 文化財センターについて、旧静浦西小学校に移転整備する予定とのことであるので、同様に廃校を活用した静岡市にある文化財施設のような、沼津の素晴らしい文化の資料を展示できるものになればと思う。

服部教育長 その他、何かあるか。

 無いようなので、以上をもって本日の定例会を閉会する。

午後 4 時 10 分 閉会